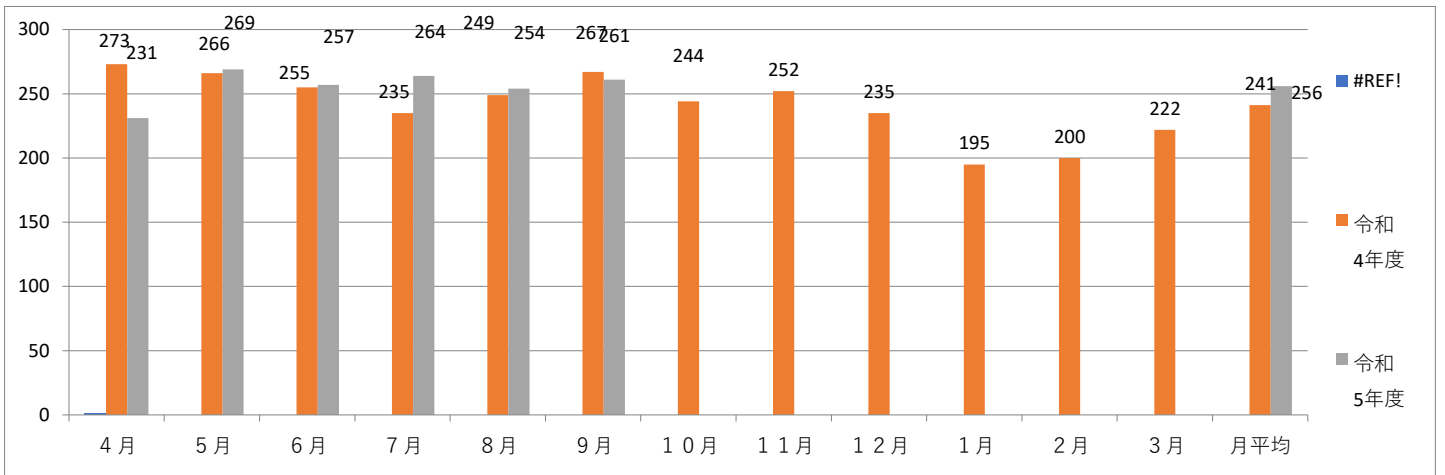


デイサービスはまぎくの活動状況報告

1. 利用者実績数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
令和4年度	要支援 総合	10	12	11	11	10	10	9	11	11	11	11	10	10.6
	利用 延回数	41	46	46	34	29	22	21	22	22	24	25	29	30.1
	要介護	42	41	36	36	37	37	38	39	37	35	32	33	36.9
	利用 延回数	273	266	255	235	249	267	244	252	235	195	200	222	241
令和5年度	要支援 総合	8	10	11	13	13	13							11.33
	利用 延回数	29	38	43	43	47	46							41.0
	要介護	38	41	43	43	43	44							42
	利用 延回数	231	269	257	264	254	261							256



平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	1.9	2.0	2.1	2.1	2.2	2.1	2.1	2.4	1.9	1.7	1.7	1.7	2.0
令和5年度	1.8	1.8	1.9	1.8	1.8	1.7							1.8

中重度（要介護3～5）の受入れ割合

4年度	31%	5年度	22%
-----	-----	-----	-----

平均介護度

4年度	2.0	5年度	1.8
-----	-----	-----	-----

2. 行事・レク活動

5年	主な活動行事（*レクリエーション内容は別紙参照/毎月お誕生会開催）
4月	・各種ゲーム ・お花見ドライブ（4/11～4/12）
5月	・各種ゲーム（曜日対抗運動会） ・カラオケ
6月	・各種ゲーム ・創作活動（紫陽花作り）・大雨、土砂災害時避難訓練（ハイスこづち合同 6/26） ・カラオケ
7月	・各種ゲーム ・カラオケ・創作活動（七夕飾り）・消防訓練（7/12）
8月	・各種ゲーム ・創作活動（花火飾り）・納涼祭（かき氷提供）
9月	・各種ゲーム ・敬老会（お祝いお弁当提供、ゲーム、職員による踊り、最高齢等の利用者への表彰）

3. ボランティア団体及び地域交流会の状況

- ・コロナ禍の影響により、各ボランティア団体の慰問活動の受け入れを自粛
- ・4/23（日）臼沢自治会 総会（はまぎく、ハイスこづち管理者出席）
- ・6/18（日）・7/30（日） 地域環境整備活動 草刈りの参加

4. 事故発生・災害時の状況報告

月日	主な事故・ヒヤリハット・災害状況	原因・対応・改善策
4～9	<p>ヒヤリハット=3件 事故=0件 急変=0件</p> <p><ヒヤリハット> 1. 静養後、ベットから車いすへ移乗介助を行った。利用者が車いすに座ったことを確認し、介助にてフットサポートに足を乗せようとしたが、利用者が自ら麻痺側の足をフットサポートにのせ、手の指をフットサポートに挟み、傷をつけてしまった。 （70代、男性）</p> <p>2. 朝の送迎時、自宅内ソファから立たせる際、本人の足が滑り、ソファの下にすり落ちてしまった。 （70代、男性）</p> <p>3. 入浴後、湯船から上がった際、左足第2趾から出血が見られた</p>	<p><ヒヤリハット> 1. 介助中の声掛け、見守り不足が原因と思われる。看護師が傷の状態を確認し、絆創膏を貼り処置する。麻痺があり、ほぼ車いすでの移動対応を行っていたが、普段から本人が車いすを操作していた。できることは自分で行いたいと思う利用者の意欲は大切だが、操作する際の声掛け、見守りを行っていく必要があった。再発防止に努めていく為、職員内で介助方法の確認をし共有を行った。</p> <p>2. パーキンソン病の持病があり、身体が思うように動かない状態にあるため、送迎時は二人介助で対応していた。夏場になり、居室内の絨毯が取り除かれ、畳が敷かれていた。また着用していたズボンがナイロン製のものだった。ソファから立ち上がる際、下肢が滑り、ソファの下に座り込んだ状態となる。二人で介助対応しており、支えながらゆっくりと滑り落ちたため、ケガはなかった。自宅内の状況や本人の状態を確認したうえで、介助の工夫、対応が必要だった。今後、安全に介助を行うため、職員内で介助方法等の確認を行った。</p> <p>3. 湯船に入るまでは、出血は見られなかった。本人は湯船から上がる際に階段の縁に足を擦ったとの話をされていたが、はっきりした原因はわからない状態だった。浴後、看護師が止血処置を行った。おぐに</p>

<p>上は赤と血がつ山血が元ついた。 (90代、女性)</p>	<p>は1つづつないか感に付た。その後、目眩等の止血処置を付た。ラメに出血は止まり、痛みの訴えも聞かれなかつた。出血の原因等家族に説明を行う。湯船に入っている際、また移動時も見守り、声掛けを行い、ケガ等の防止に努める必要がある。</p>
-------------------------------------	--

5. 職員研修の実施状況

月	研修内容と参加者数
4～9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度業務課研修会 感染症について (新型コロナウイルスクラスターから学ぶこと) 7/19(水) 17:30～18:30 ・ 令和5年度介護保険施設集団指導 (オンライン研修) 9/20(木) 13:30～16:30 (管理者1名) ・ 認知症介護実践者研修 9/14、15 (職員1名) ・ 介護福祉士実務者研修 (職員1名)

6. 現状・課題

<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月から相談員1名が産休に入り、介護職員1名が新たに相談員として業務に就いている。また5月から介護職員が1名新採用となり、業務に支障をきたすことなく稼働することができている。 ・ 今年度は、前年度の介護福祉士の有資格者の割合が減少したため、サービス提供体制加算が取得できない状況となった。しかし、今年度は、介護福祉士の有資格者が増え、また資格取得のため積極的に研修に参加されている職員もおり、今後のスキルの向上に期待ができる。 ・ 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたが、他施設でのクラスター、また利用者、利用者家族、職員家族等が感染されたとの報告を受けている。施設内での感染拡大を防ぐため引き続き感染対策を行って行く必要がある。 ・ 各ボランティア団体の慰問活動の受け入れや地域住民との交流等コロナ感染症の状況をみて行っていく。 ・ 利用者数が増え、利用回数も増加傾向にある。1日の定員数18名をほぼ満たしている状況。新規の受け入れ、利用回数を増やしたいとの相談もあり、今後の空き状況を見ながら調整を行っていく。 ・ 中重度(要介護3～5)の受け入れ人数が減少している。認知症状や、ADLの低下が進むと自宅での生活は困難となり、入所や入院となる方が多く、継続的なデイサービス利用につながらない。 ・ 7月に浴場(浴槽内タイルの目地、浴場の窓)の修繕作業を行った。施設が老朽化しているため、利用者が安全、安心して利用できるよう、今後も施設内の整備が、重要な課題である。

7. その他

8. 次回運営推進会議開催予定

令和6年2月～3月頃

・ 場所 大槌町デイサービスセンターはまぎく